



トピックス

平成 29 年 1 月 27 日

NO.74

6 年生 校長室で会食会

先日から 6 年生と一緒に校長室で会食会を開いています。最初は、6 年 2 組からスタートです。40 分程度の短い時間ですが、事前に記入してもらった「卒業生カード」をもとに、いろいろな話をしています。時々笑いが飛び出したり、友だちの知らなかった一面を知ったりして楽しく一時です。



【松戸あれこれ物語】

～過去にびっくり新京成線計画～

市民の足として活躍する新京成電鉄を、皆さんもよくご存じだと思います。過去に旧日本陸軍鉄道連隊が線路を敷く練習をするため敷設したこともあり、極端に曲がりくねった線形をしていて、直線なら 15.8 km なのに 26.5 km の線路で松戸と京成津田沼間を約 44 分で結んでいます。

松戸市が作成する「広報まつど」を見てびっくり！昭和 30 年 3 月 15 日号の記事に「新京成電車 4 月 6 日開通式 沿線開発に一役」という見出しを発見。記事内容を読むと 3 月いっぱいまで全線完成し、4 月に開通式を行うというものでした。驚いたのは、京成津田沼駅を出た電車の終点が松戸駅になっていないのです。全線路図として、松戸駅の先にいくつかの駅の建設が計画されたのです。松戸駅⇄園芸学部⇄上矢切⇄下矢切⇄里見公園⇄国府台学園⇄手子奈⇄国府台（京成線）と駅名がつながっています。小回りの武蔵野線とも言うべきなのか、京成線からまた京成線へと円を描くような経路を建設予定したのです。

これは、どういうことなのか早速調べてみると、高度経済成長期へと向かい急激に都市化の波が押し寄せているという実情がみえてきました。松戸駅は、すでに国府台駅までの線路延長を決めていましたが、計画沿線の各所から反対の声が上り計画は頓挫してしまいました。そのうち、線路ができないまま取得した免許も失効の日を迎えたということです。早くも土地買収完了した中には、三矢小台駅（仮）ができる計画まで進み、場所確保もできていた。しかし、この計画が実現しなかったため、現在はリブレ京成三矢小台店・松戸新京成バスの折り返し場や住宅に転用されてしまっている。